

公益事業報告

●八月四日、比叡山宗教サミット二十四周年「世界平和祈りの集い」が延暦寺にて開催され、宍野史生参元が出席しました。天台座主・半田孝淳猊下により平和祈願文が奏上され、続いて高野山真言宗管

長・松長有慶猊下の「平和を語る」と題した記念講演がありました。

“ 宗教サミット・平和の言葉 ”

一、世界の人々と仲良く暮らそう

一、尊い生命を大切にしよう

一、自然の恵みに感謝しよう

●八月十四日、財団法人新日本宗教団体連合会は千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「第四十六回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」を挙行し、約二千五百人が参列して戦争犠牲者に慰霊の誠を捧げ、恒久世界平和を誓いました。本教から宍野参元（財団法人日本宗教連盟

幹事）と鴨田和征教務部長（同参議）が出席し、献花を行いました。

●十月十一日、「宗教法人制度の運用に関する協力者会議」において、宍野参元が講師依頼を受け、「宗教の公益性」について講義しました。

●十月十七日、財団法人新日本宗教団体連合会は結成六十年を迎え、「六十年の絆く新たな誓い」をテーマに記念集会を開催しました。岡野聖

法理事長（解脱会法主）は、「六十年間培ってきた絆をも

とに各宗教の自由かつ円滑な活動を通して、豊かな人間性の涵養とより良い社会形成、

更には日本と世界の平和実現のために働いて参ります。」と

式辞を述べ、続いて上田紀行東京工業大学准教授による記念講演が行われました。本教からは宍野参元と鴨田教務部長、畑野和裕講義が出席しました。

●十月十八日、千鳥ヶ淵戦没

者墓苑で平成二十三年度秋季慰霊祭が高円宮妃久子殿下、典子女王殿下ご臨席のもと、厳粛に執り行われました。約千人の参列者は、久子妃殿下と一緒に拝礼黙祷して慰霊の誠を捧げました。財団法人日本宗教連盟理事長代理として、本教の宍野参元が献花を行いました。



●十一月一日・十四日の両日、文化庁主催宗教法人実務研修会として、北海道東北地区研修会（秋田県）・九州地区研修会（鹿児島県）が開催されました。日本宗教連盟幹事の宍野参元が講師として「宗教法人の公益性」と題して講演を行いました。各会場とも百団

体以上の宗教法人実務担当者が集まり、宗教法人管理や会計実務に関して熱心に研修を受けていました。



第五十七期

祭式作法中央研修会開催

毎年恒例の祭式作法中央研修会が十一月八日から十二日の五日間、十名の参加を以て本部にて開催されました。

管長殿、教嗣殿、山縣祭事師範、加藤哲也祭典課員の指導により、今回も連日研修科目に熱心に取り組んだ参加者は、最終日の月次祭を立派に奉仕して誠心を大神様へ捧げていました。



研修会参加者

石川隆 宮本匡 齊藤昌子
田畑智弘 富田忠秋 浅井由喜子
森岡英子 村元弥生
山元孝子 岩下正行

富士信仰勉強会のお知らせ

・一月十二日(木)の初月並祭にあわせて、第一回の富士信仰勉強会を企画しております。テーマは身祿尊師御口述の「三十一日の御巻」です。参加御希望の方は大教庁までお問い合わせ願います。

「扶桑」 発行元

扶桑教大教庁

〒156・0043

東京都世田谷区松原

一七二一

電話 03(3321)0238